

科目名	発達心理学（演習）		担当教員	金 瑛珠・片川 智子		
			担当形態	オムニバス		
テキスト	特になし	単位数 授業形態	1単位 演習	開講時期	後期	
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標■</b> 子どもと共に生活し、その育ちを支え、共に成長する大人になることを目指し、この授業では以下を目標とします。 ・子どもの生活や遊びについて、発達の視点から説明することができる。 ・一人ひとり異なる子どもの発達理解に裏打ちされた保育者の援助に気づき、記録ができる。</p> <p><b>■授業のテーマ及び概要■</b> 保育者は、人の子どもの時代への発達にかかわる重要な存在です。そのことを感じ取り、責任をもって子どもとかかわる姿勢を身につけてください。 この授業では実習等での子どもの生活やあそび、保育者の援助と、子どもの発達を具体的に結びつけながら、一人ひとりの子どもの発達を考慮した保育実践について学びます。実習等でのエピソードを出し合い、グループでのディスカッションや考察を行います。最後には、クラス紹介冊子を作成しながら、発達を支える保育環境、保育者の援助等を総合的に考えていきます。</p> <p><b>■授業計画■</b> 第1回 子どものあそびと学び① ～あそびとは～ 第2回 子どものあそびと学び② ～あそびを通して学ぶ～ 第3回 子どもの生活と学び① ～生活とは～ 第4回 子どもの生活と学び② ～生活を通して学ぶ～ 子ども同士のかかわりを支える援助 第5回 身体感覚を伴う多様な経験と発達／環境としての保育者 第6回 集団と個の育ち① ～一人ひとりの表現を受け止める～ 第7回 集団と個の育ち② ～子ども集団と保育の環境～ 第8回 生きる力の基礎を培う ～子どもの姿に見る生きる力の芽～ 第9回 一人ひとりの発達に応じた保育 第10回 子ども理解の一つとしての発達の把握 第11回 発達の連続性と就学への支援 第12回 子どもの発達と保育実践① ～子どもの発達と保育者のかかわり～ 第13回 子どもの発達と保育実践② ～子どもの発達と環境構成～ 第14回 まとめ 期末試験 第15回 期末試験解説</p> <p><b>■準備学習■</b> ・授業の内容を、実習等での体験や他教科で学んだことと結び付けて考えてみること。 ・授業で示された自己学習、グループ学習を行うこと。</p> <p><b>■評価方法■</b> ・クラス紹介冊子 — 20% ・ワークへの取り組みや授業中の意見等 — 30% ・期末試験 — 50% ※再試験なし</p>						
参考文献	保育の心理学Ⅰ（萌文書林） 保育の心理学Ⅱ（萌文書林）	特記事項	発達心理学（講義）の単位を修得していない場合、履修出来ません。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修	幼	教職に関する科目			
		保	保育の対象の理解に関する科目			